



岡田 舞子

1993年岩手生まれ、半年間で少し大人に成長してきたいと考えております。

撮影テーマ

撮影地は自然に関する聖地です。岡田は大自然の中で生まれ変わってきます。

最近のエントリー

- ▶ たまげた風景 (2013.05.24)
- ▶ おらほさきてけらい。 (2013.05.09)

アーカイブ

- ▶ 2013年10月
- ▶ 2013年09月
- ▶ 2013年08月
- ▶ 2013年07月
- ▶ 2013年06月
- ▶ 2013年05月
- ▶ 2013年04月
- ▶ 2013年03月

投稿カレンダー

カテゴリー一覧

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

OLYMPUS
STYLUS XZ-2



HOME / 海外フォトフィールドワークWeBlog / 単純に。 / 2013年05月 アーカイブ

海外フォトフィールドワーク WeBlog

Blog

単純に。

たまげた風景

[Tweet](#)

[Check](#)

おぼんです。
岡田舞子です。

二度目のマレーシアに入国しました。

去年ボルネオ島にきてギナバル山をみてから私はずっとこの山に登ることを夢見てきました。

ギナバル山はカダザン・ドゥスン族が「祖先の霊が眠る山」として崇拝している場所です。私には大切な撮影地の一つです。



遠くから眺めるのではなく近くに行きたかった。

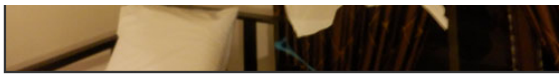
カンボジアでの入院のせいで登れるかすごく不安だった。2週間ちかくいろいろなものを我慢して最高とはいかなかったが体調もよくなりギナバル山に登ることができた。

いざスタートの前にギナバルパーク内に1泊、すごくいいロッジ。



次の日のためにてるてる坊主。





効果は抜群。

スタート



超人おじさん



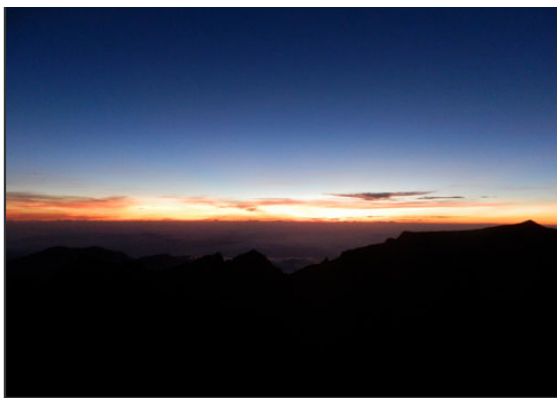
標高3000ちよいに到着



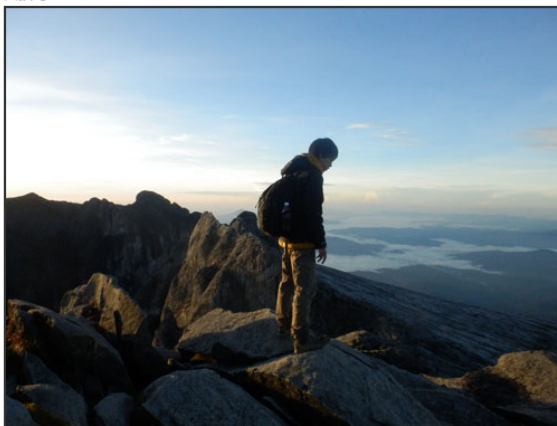
無事登頂



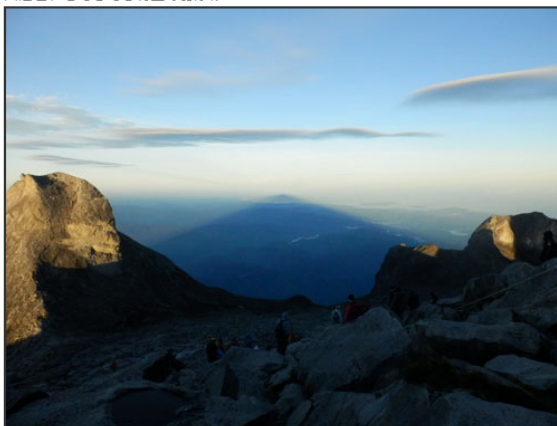
ご来光



山頂で



山陰これもてるてる坊主のおかげ



最後の500メートルくらいは半泣きとかもう泣きながらのぼった。

山頂から下山は絶好の撮影日和。

今回の経験で
これまでの不安はどこかへ消えた。

もっともっと成長したい。しなければならぬと感じた。

前半のスクーリングでまた自分の考えや思いは少しは変わると
思うけど、ぶれない部分はしっかりもっていたいと思う。

残りの時間を楽しみながら写真と向き合いたいと思います。

んだばね。

カテゴリ：
post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.05.24 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

📷 おらほさきてけらい。

[Tweet](#)

[Check](#)

どうもおぼんです。
岡田舞子です。

カンボジアでの体調不良から少しずつ
復活してきています。

カンボジアではたまげるほどの腰痛でしたが
これも人生にそうそうない経験ですね。

ずっとあめていた気分もなんだかすっきりしてきました。

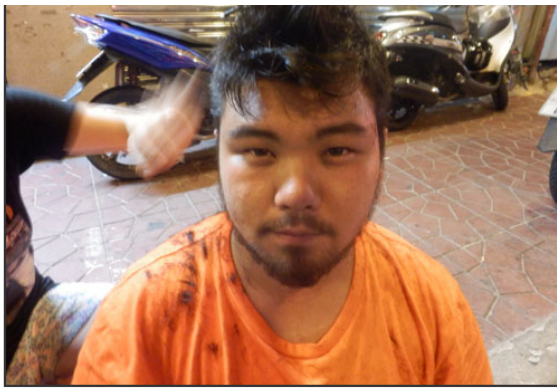
多少いずいですが大丈夫でしょー

バンコクでの休養中はおかだ理髪店を開き
男子3人の髪をすっきりとカットしました。



タイガくんはサイドだけ短くという難題をいってきた





んで昨日クラビの方に久しぶりのエアアジアで移動しました。

ピピ島はきれいな場所です。
おでんせピピ島。



ピピ島さきから泳げばいいがね。
ってことでしたが足だけはいりませんが、
きもちよかった。

カンボジアからひゃっこいものは
のまないようにしています。
おまじない

めと生野菜や果物も。

自己管理が大切だと痛感しました。

ピピ島にきて久しぶりに撮影できることに幸せを感じました。

あともう少しで2ヶ月。日本に帰りたいと思うことは
今までありませんでしたが、病院でスカイプをしてからは日本に
帰りたい思いがわきました。

病院でみたMHKの朝ドラが久慈が舞台でこれまた帰りたくなかった。

だけどピピ島でまた撮影の感覚をもどして残り4ヶ月をがんばり
たいとおもいます。

んだばね。

カテゴリ:

post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.05.09 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

▲ Pagetop